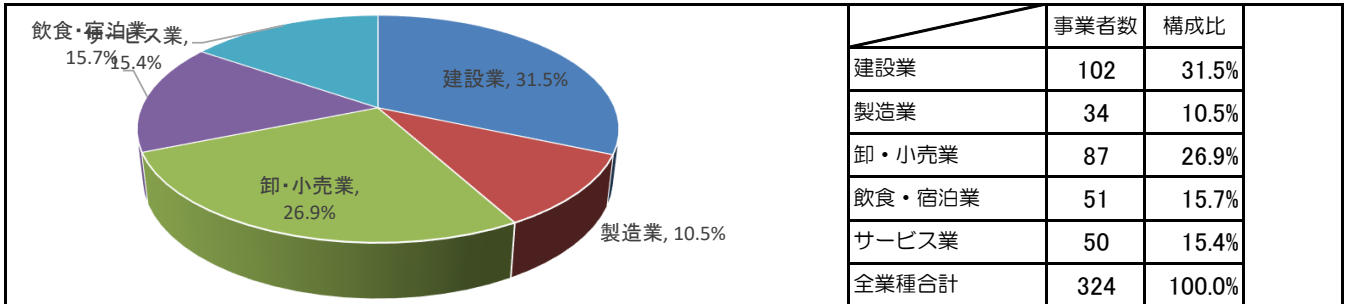


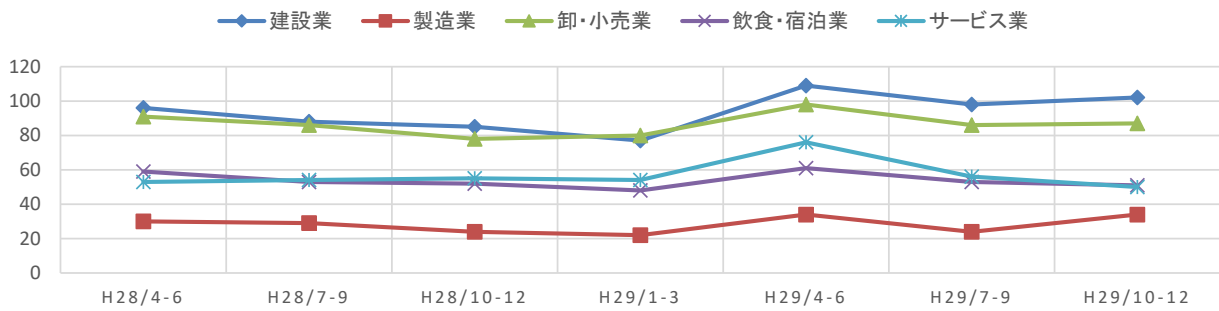
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



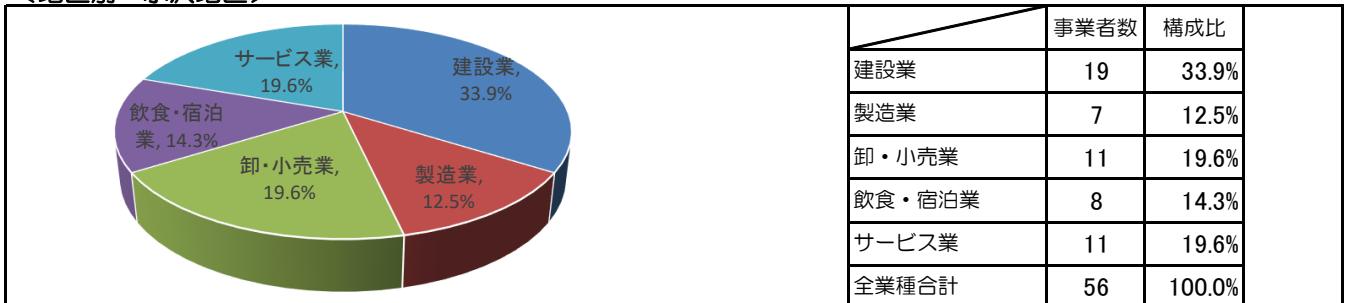
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



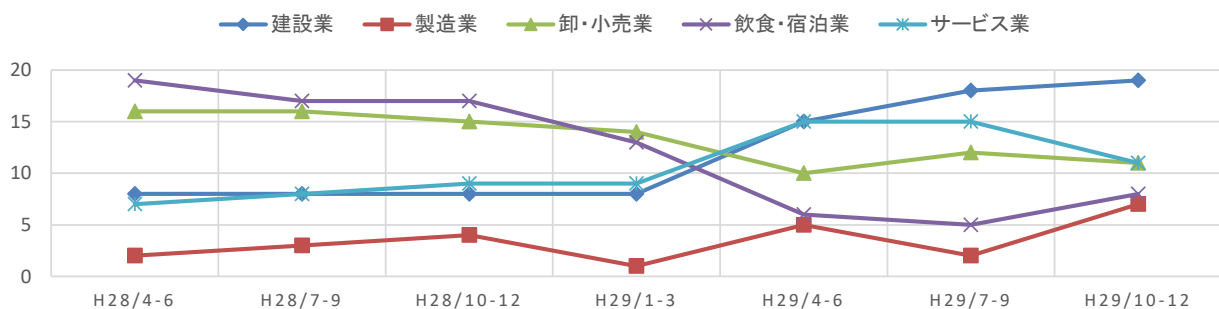
<コメント>

市内商工会地域全体の商工業者1056社の約31%からの回答を基に集計した結果である。製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きな偏りのない調査結果である。

<地区別：水沢地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

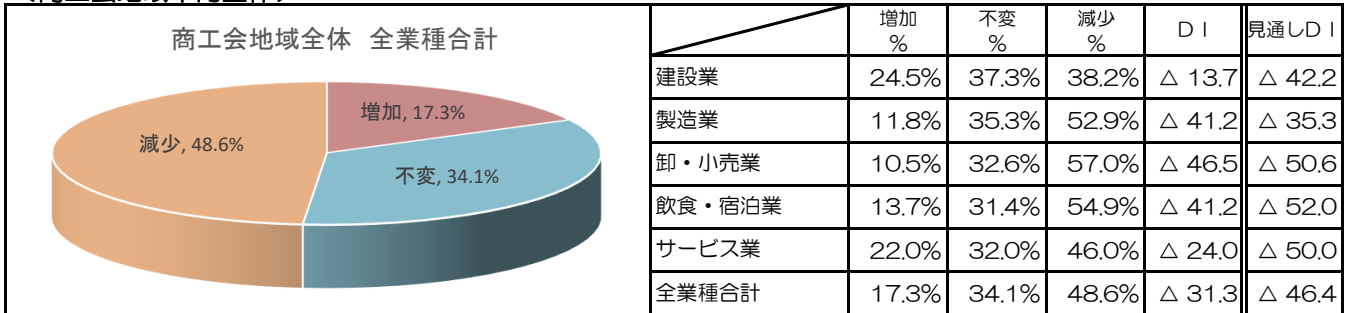
当地区会員163事業所に調査票を配布し、56事業所から回答を得た。(回答率31.9%)構成比率は建設業33.9%、製造業12.5%、卸・小売業19.6%、飲食・宿泊業14.3%、サービス業は19.6%であり、製造業の割合が若干多いが、前回調査時とほぼ同様の構成比率であった。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

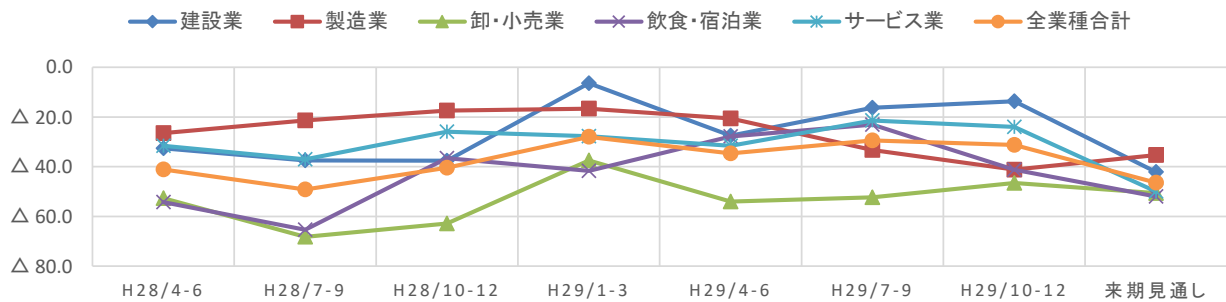
### 1. 売上について

- ・10月～12月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

#### <商工会地域市内全体>



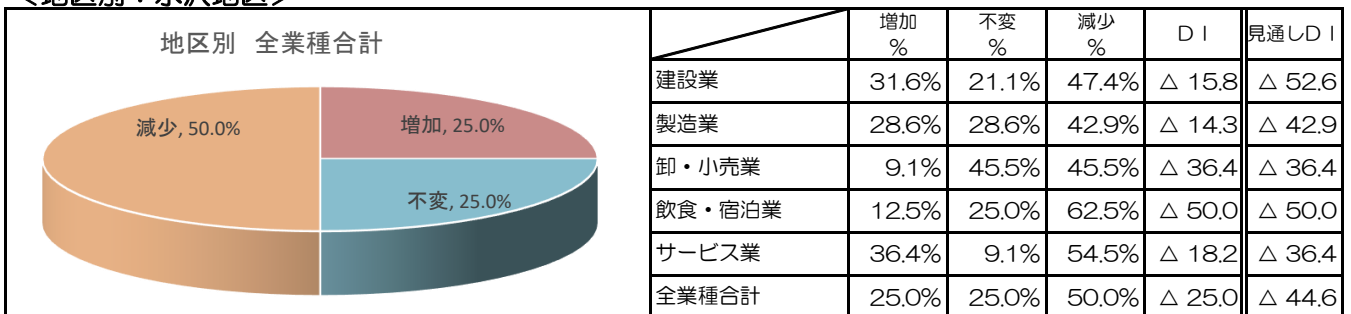
#### 業種別売上の推移（市内全体）



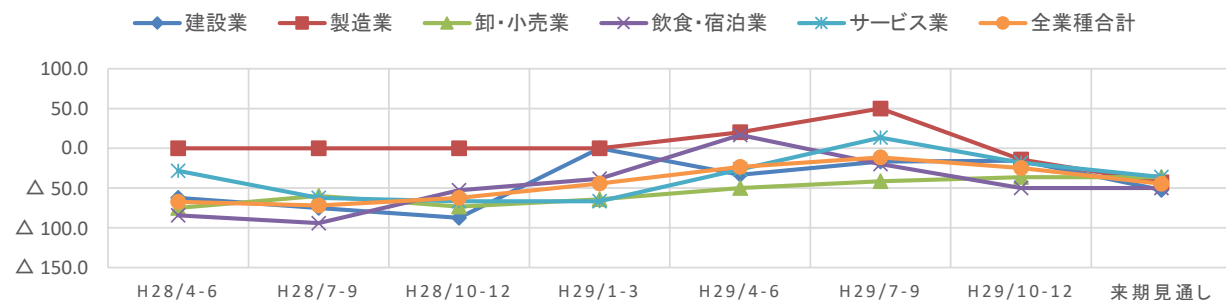
#### <コメント>

売上は、前年同期と比較して、全業種で31.3ポイント減少となった。依然として卸・小売業の減少が目立つ。来期見通しは、建設業においては、当地域の特性から冬季間の受注減少で例年悪化傾向となるが、製造業を除く業種で50ポイント以上悪化を予想している。

#### <地区別：水沢地区>



#### 業種別売上の推移（地区別）



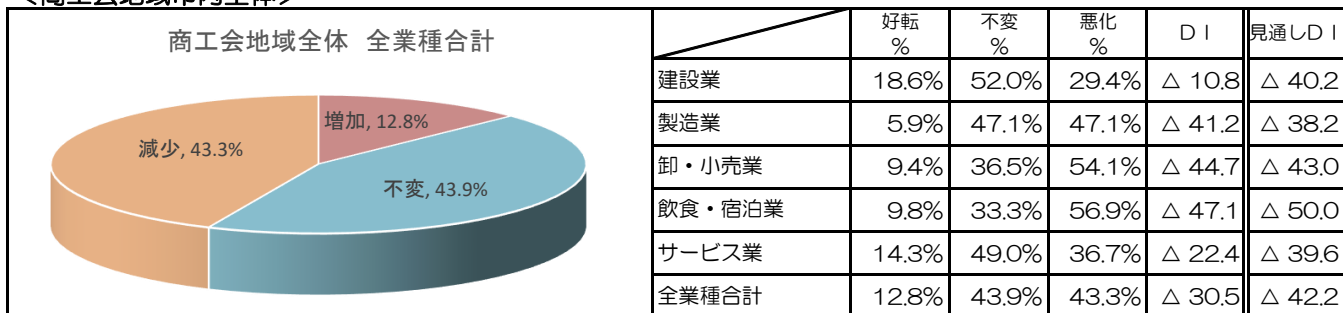
#### <コメント>

当地区の売上は、前年同期と比較して、全業種合計で△25ポイント減少。業種別に見ると、卸・小売業は△36.4ポイント、飲食・宿泊業が△50ポイントの減少であり厳しい経営状況である。他業種でも減少しており、売上の確保に苦慮している。来期の見通しは、全業種合計で△44.6ポイント減少の見通しであり、今期から約20ポイントの減少を予想している。冬季間の受注及び客数の減少等で例年悪化傾向となるため厳しい見通しとなった。

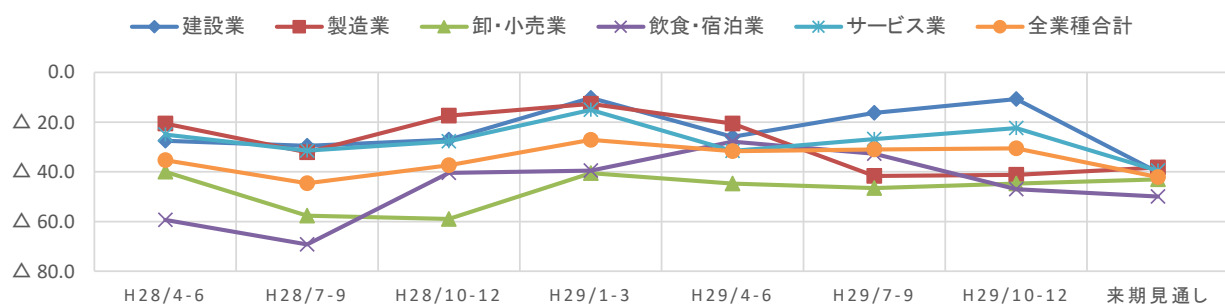
## 2. 採算について

- ・10月～12月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



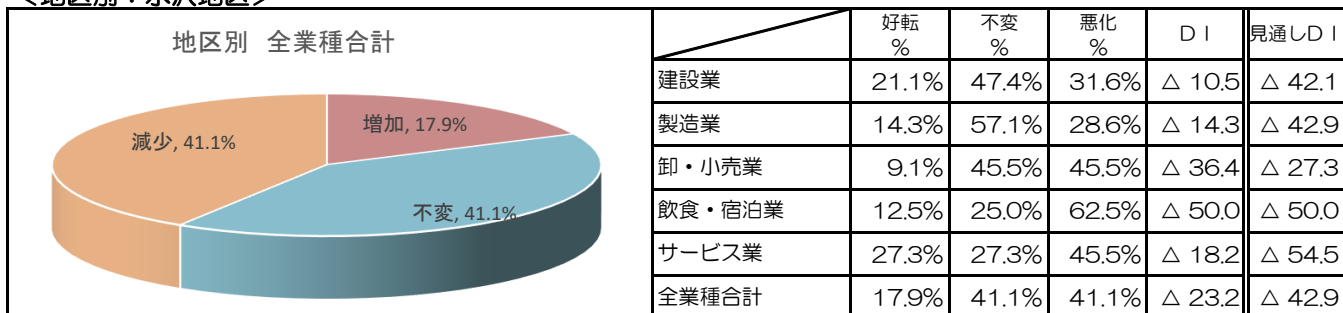
### 業種別採算の推移(市内全体)



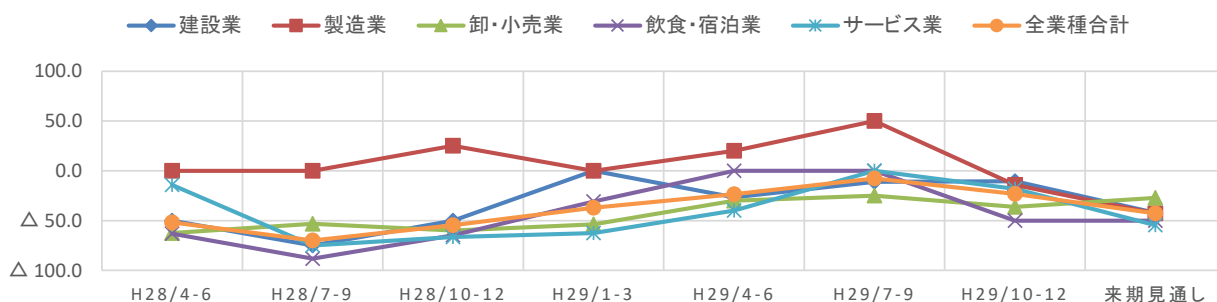
### <コメント>

採算は、前年同期と比較して、全業種で30.5ポイント悪化。飲食・宿泊業と卸・小売業の悪化が目立つ。来期見通しでは、建設業は、売上予想と比例し悪化傾向であるが、全業種で42.2ポイント悪化を予想している。

### <地区別：水沢地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



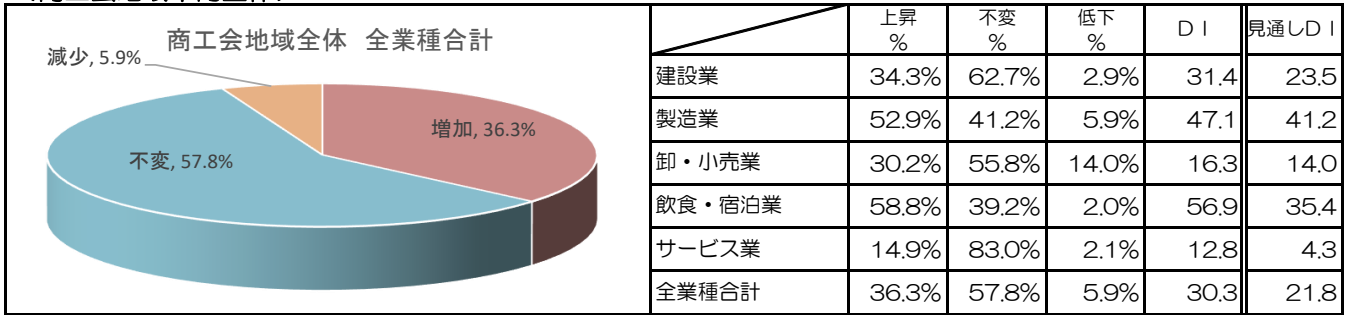
### <コメント>

当地区の採算は、前年同期と比較して、全業種合計で△23.2ポイントの悪化。業種別に見ると、地域全体と同様に飲食・宿泊業が△50ポイントの悪化と厳しい状況である。他業種についても悪化傾向にあり、売上減少と相まって利益の確保に苦慮している。来期見通しでは、全業種合計で△42.9ポイントと悪化の予想をしている。売上と同様に、雪の降る冬季間では受注及び客数も減少する傾向に有るため、厳しい見通しとなった。

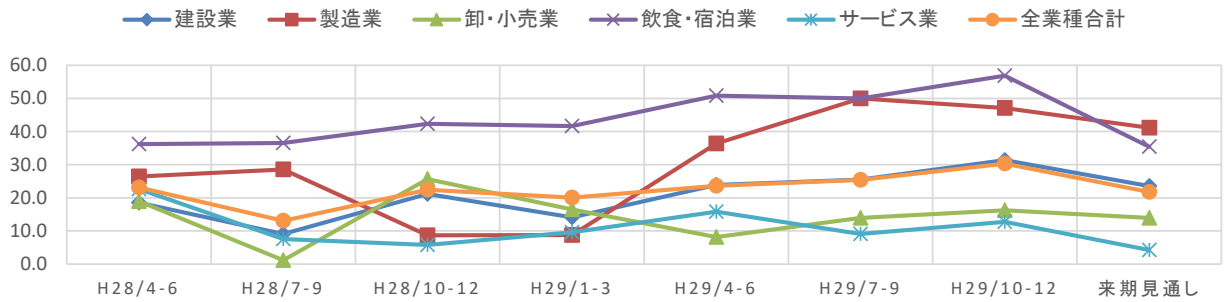
### 3. 仕入単価について

- ・10月～12月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <商工会地域市内全体>



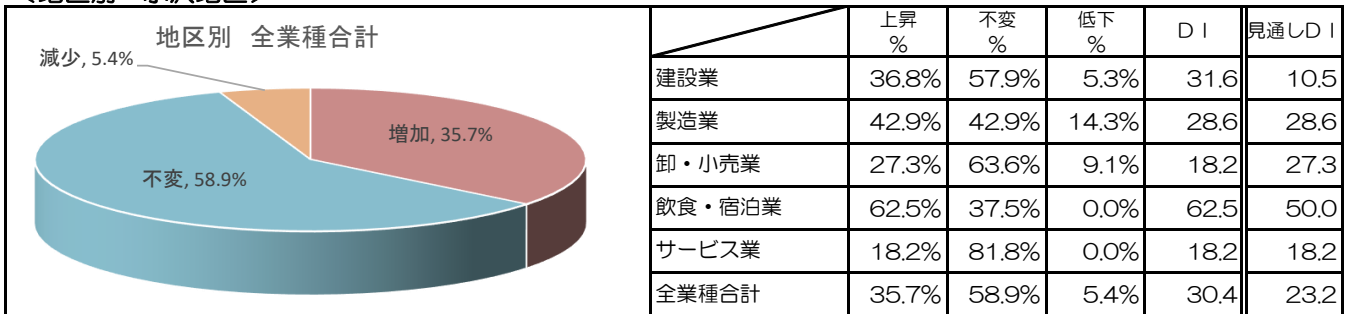
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



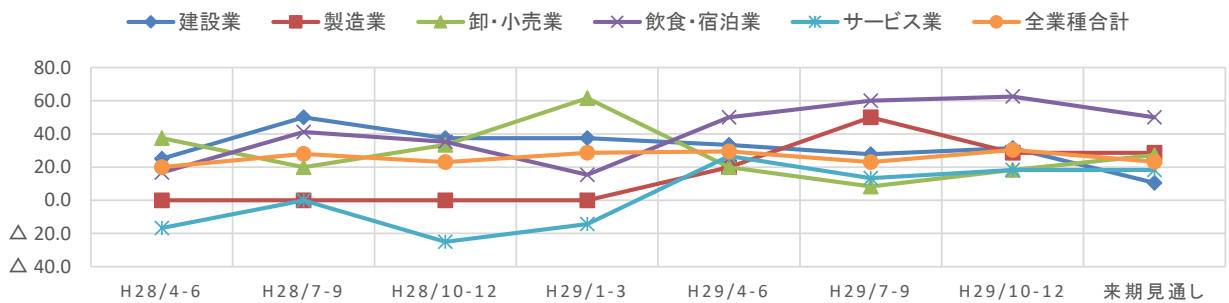
#### <コメント>

仕入単価は、前年同期と比較して、全業種で30.3ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業及び製造業の上昇が目立ち、売上原価を押し上げている。来期見通しでも、若干落ち着いていくように思われるが、この傾向は変わらないと予想している。

#### <地区別：水沢地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



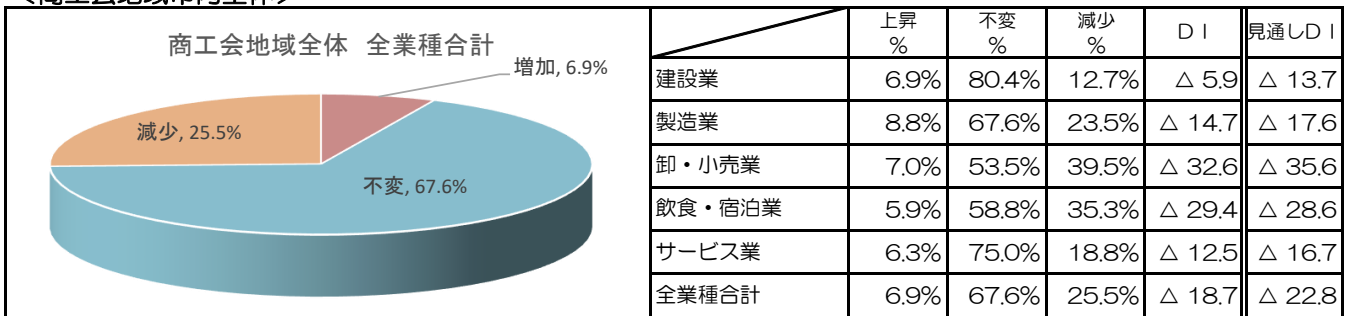
#### <コメント>

当地区の仕入単価は、前年同期と比較して、全業種合計で30.4ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業では62.5ポイント上昇と市内全体と同様の結果となり、売上原価を押し上げている。来期の見通しは、全業種合計で23.2ポイントの増加予想である。業種別に見ると、特に飲食・宿泊業は50ポイントの増加予想と高い数値を示している。

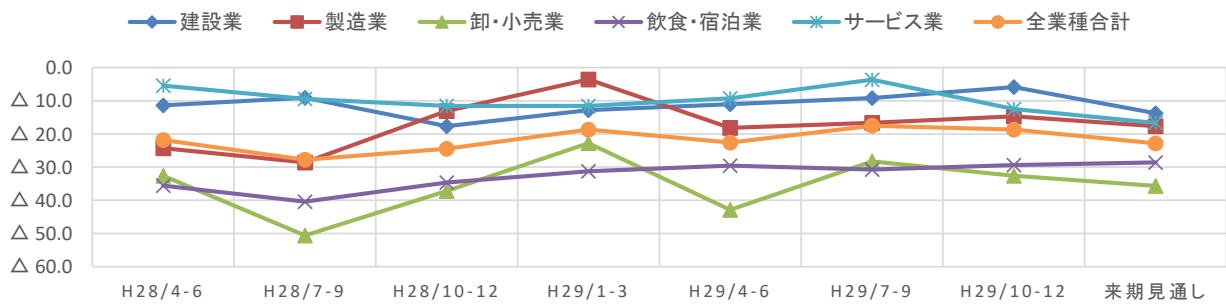
#### 4. 販売（客）単価について

- ・10月～12月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <商工会地域市内全体>



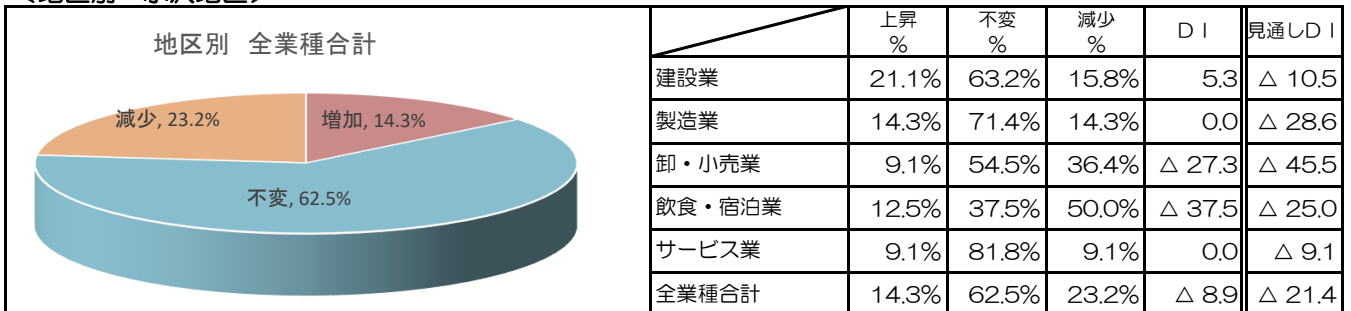
#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



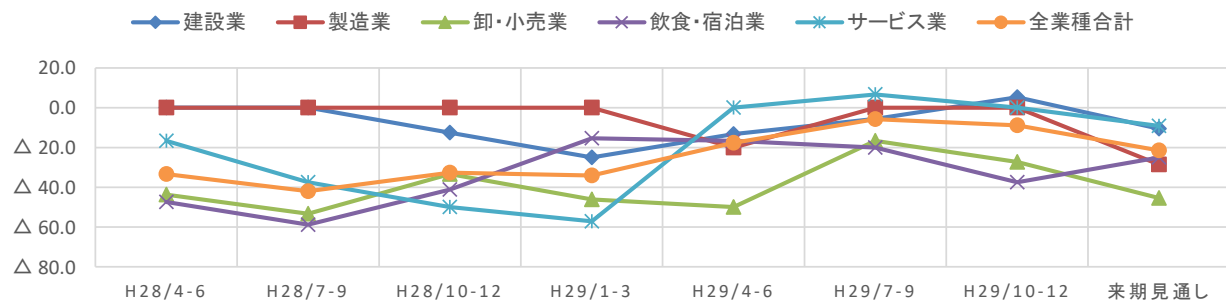
##### <コメント>

販売単価は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、18.7ポイント低下。来期見通しても、全業種で低下予想をしている。

##### <地区別：水沢地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）



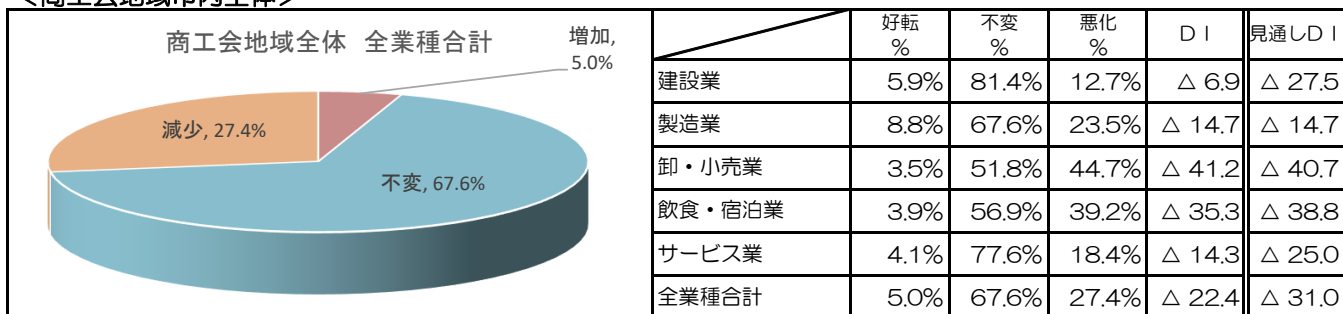
##### <コメント>

当地区の販売単価は、前年同期と比べて全業種合計で△8.9ポイントの減少であった。業種別に見ると、飲食・宿泊業が△37.5ポイント、卸・小売業が△27.3ポイント減少と他業種に比べると減少幅が大きく、販売単価が低迷している。来期の見通しは、全業種合計で△21.4ポイント減少。消費者マインドの低迷もあり、改善傾向が見られない低下予想となった。

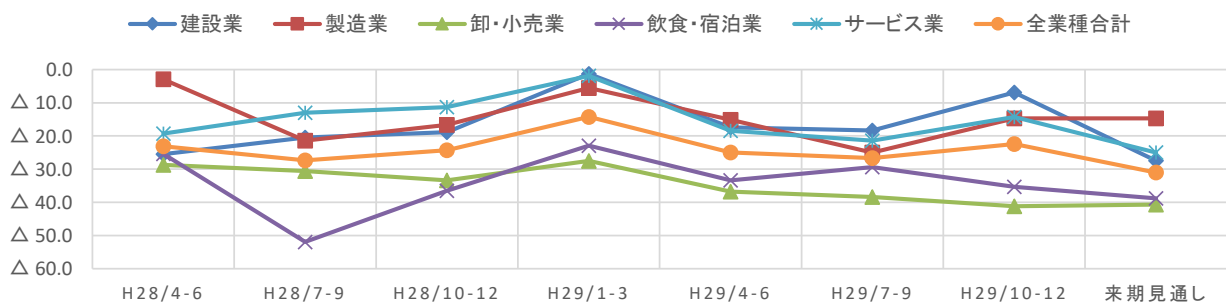
## 5. 資金繰りについて

- ・10月～12月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



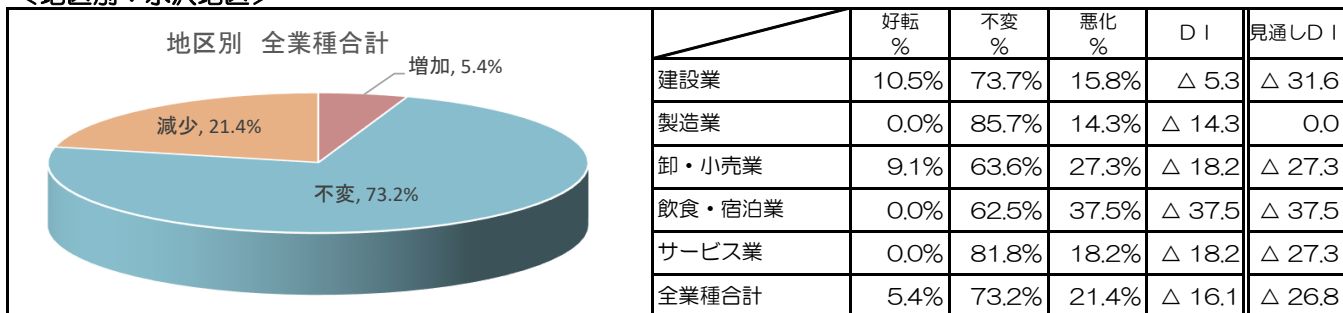
### 業種別資金繰りの推移(市内全体)



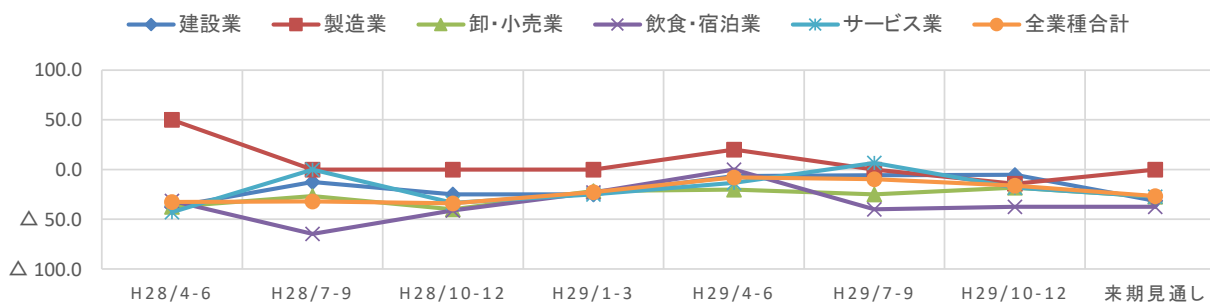
### <コメント>

資金繰りは、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、22.4ポイント悪化。依然として、卸・小売業及び飲食・宿泊業の悪化が目立つ。来期見通しでも、厳しい状況は変わらない。

### <地区別：水沢地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)



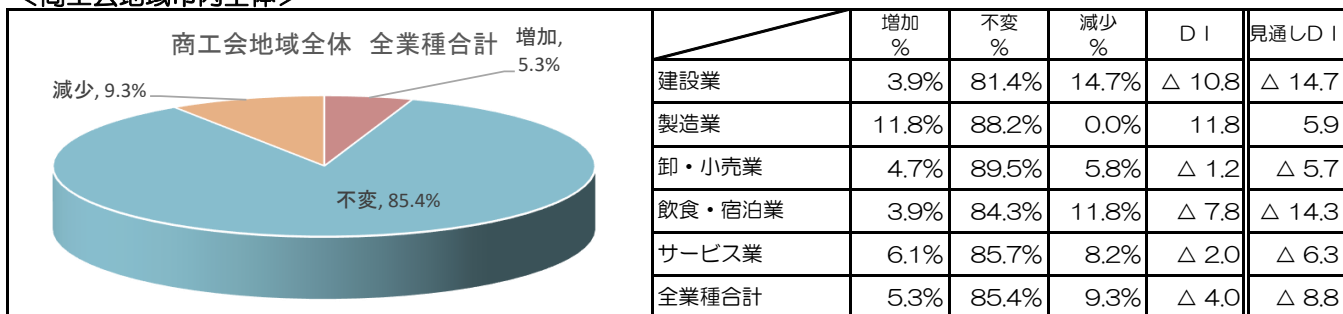
### <コメント>

当地区の資金繰りは、前年同期と比較して、全業種合計で不変基調であるが△16.1ポイント悪化。今後の見通しでは全業種合計で△26.8ポイントの悪化予想であり、業種別に見ると飲食・宿泊業の悪化が目立つ。運転資金等の資金繰りの相談等について、マル経融資斡旋等による金融支援に努めていきたい。

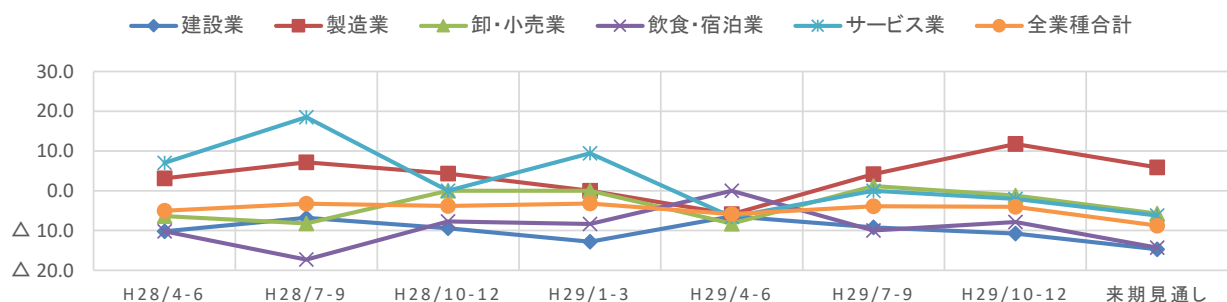
## 6. 従業員数について

- ・10月～12月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



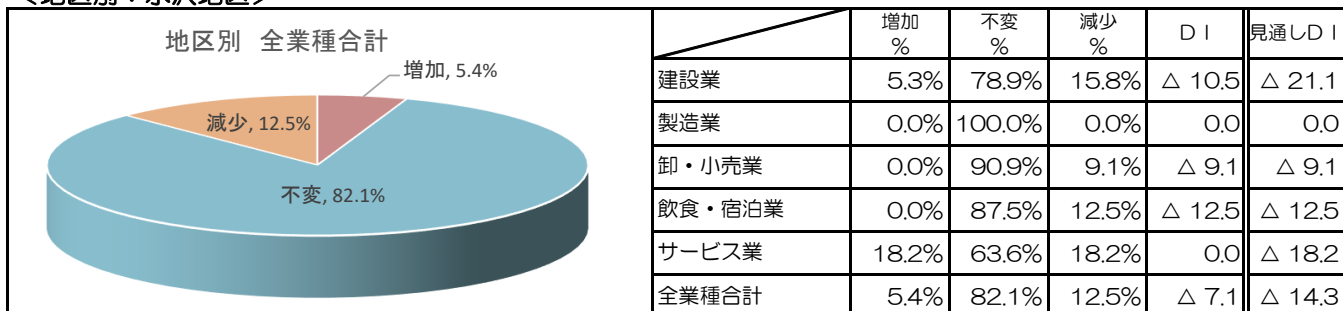
### 業種別従業員数の推移(市内全体)



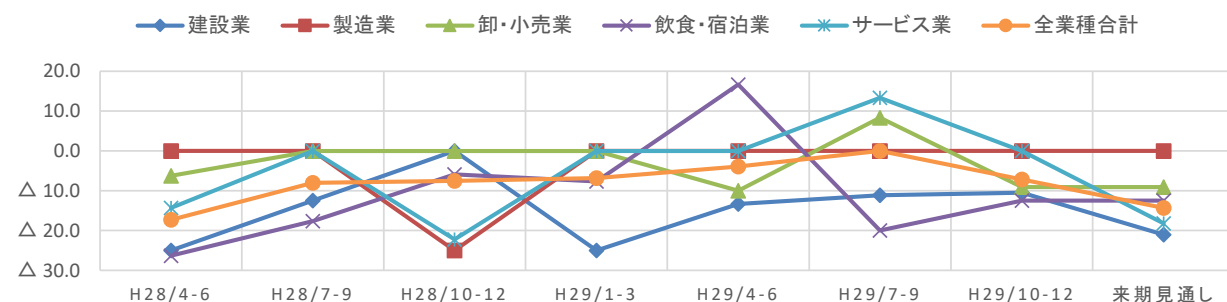
### <コメント>

従業員数は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、4.0ポイント減少。但し、製造業は11.8ポイント増加した。来期見通しでも、同じような傾向である。

### <地区別：水沢地区>



### 業種別従業員数の推移(地区別)



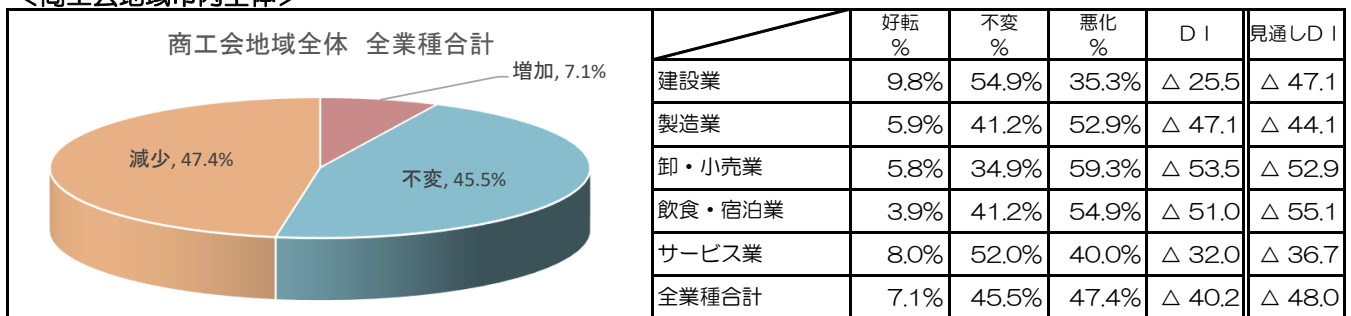
### <コメント>

当地区の従業員数は、前年同期比で全業種合計で△7.1ポイントの減少であるが、市内全体同様に不変基調である。来期の見通しでは、全業種合計で△14.3ポイント減少と今期同様の傾向である。

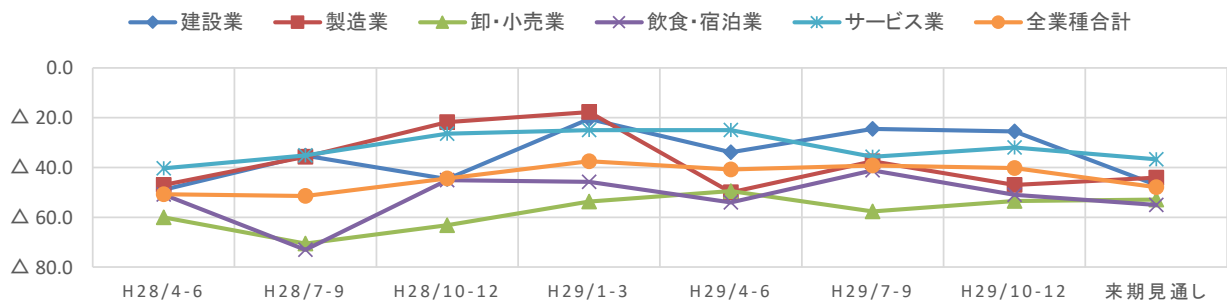
## 7. 景況判断について

- ・10月～12月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



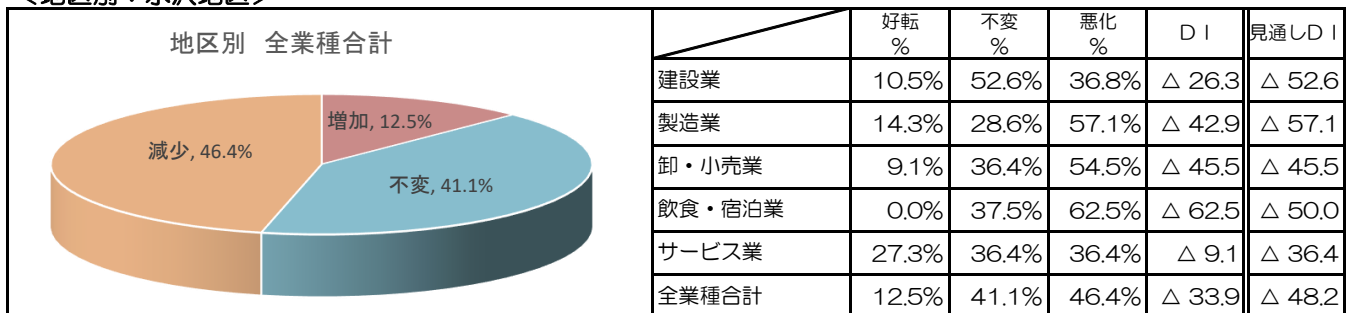
### 業種別景況判断の推移(市内全体)



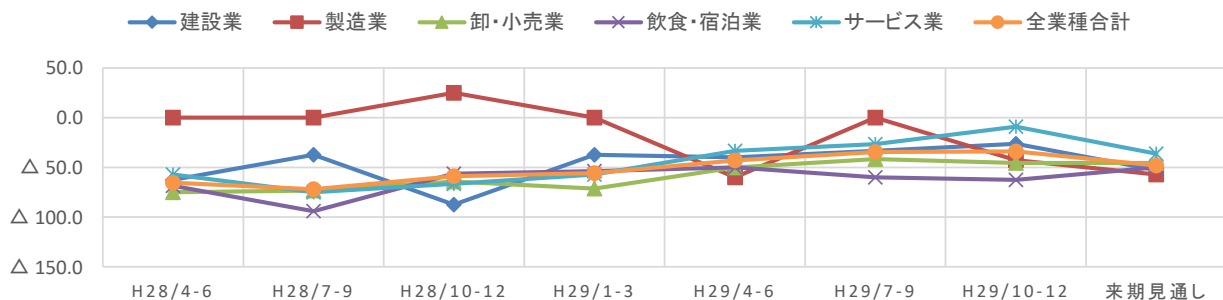
### <コメント>

景況は、前年同期と比較して、全業種で40.2ポイント悪化。特に、卸・小売業と飲食・宿泊業は半数以上が悪化と回答。製造業も悪化傾向である。来期見通しは、全業種で48.0ポイント悪化予想であり、非常に厳しい見方をしている。

### <地区別：水沢地区>



### 業種別景況判断の推移(地区別)



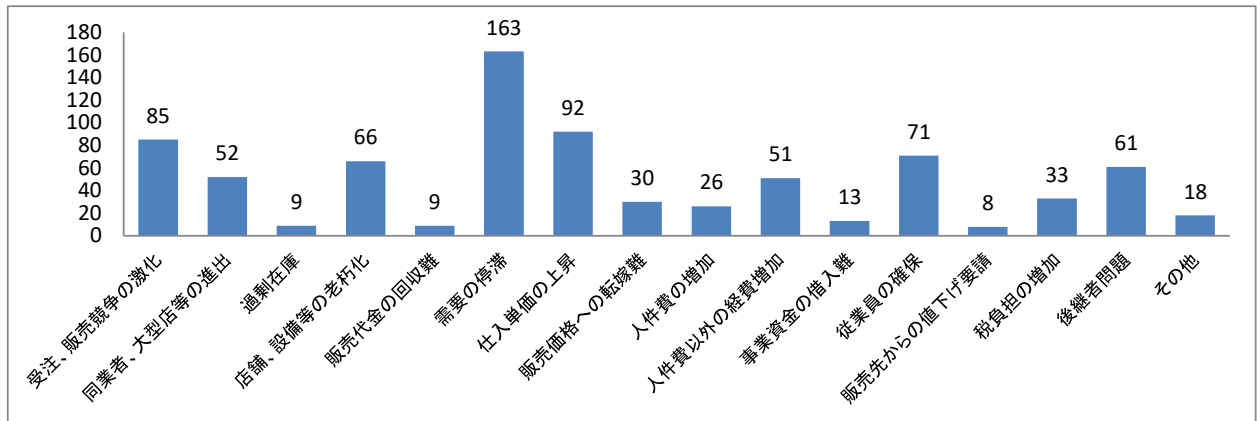
### <コメント>

当地区の景況判断は、前年同期と比較して、全業種合計で△33.9ポイント悪化となった。特に飲食・宿泊業、製造業、卸・小売業は半数以上が悪化と回答している、厳しい景況判断となった。来期見通しは、全業種合計で48.2ポイントの悪化予想であり、市内全域同様に非常に厳しい予想となった。

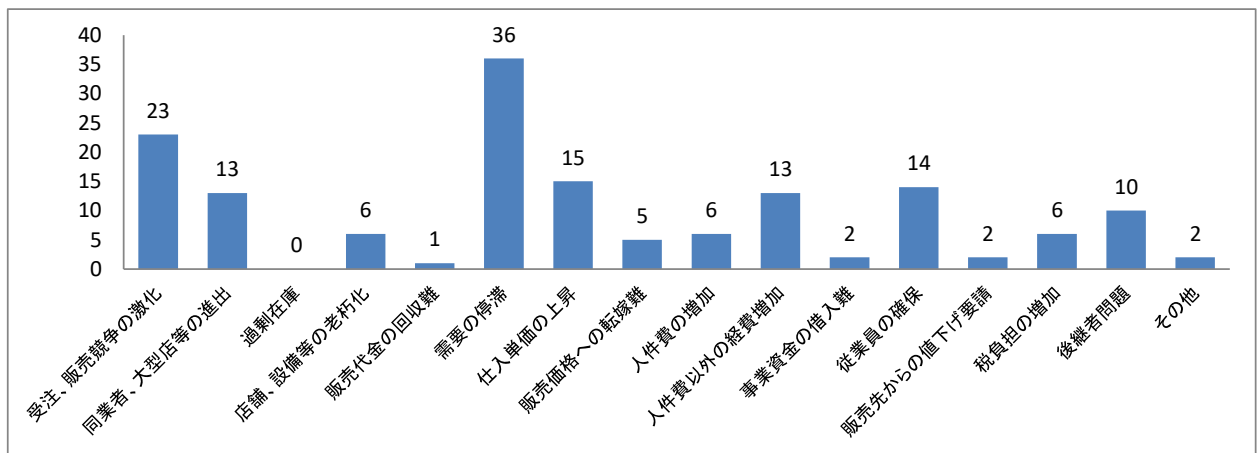


## 8. 経営上の問題点（上位3つ）

商工会地域全体 全業種合計



地域別 全業種合計



### <全域コメント>

経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「仕入単価の上昇」3位「受注、販売競争の激化」となり、前回調査3位の「仕入単価の上昇」が上位となった。

### <当地区コメント>

当地区の経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「仕入単価の上昇となり」前回調査と同じ結果であった。

## 9. 地区の景況概要

・10月～12月時点での全体概況は

### 【建設業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」が△15.8ポイント減少し、「採算」が△10.5ポイント悪化している。「仕入単価」は36.8ポイント上昇しており売上原価が増加していることに加え、「受注単価」は5.3ポイント増加しているが、不変と回答した事業所が最も多く不変基調であるため粗利益の確保に苦慮していることが伺える。来期の見通しでは「売上」「採算」「受注単価」共に減少予想、「仕入単価」は増加予想と、厳しい経営状況の見通しである。経営上の問題点は1位「需要の停滞」2位「従業員の確保」3位「受注、販売競争の激化」となっている。

### 【製造業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」「採算」ともに△14.3ポイントの減少・悪化となった。「仕入単価」は28.6ポイントとなっており、売上原価も増加傾向である。「販売単価」「従業員数」については不変であった。「資金繰り」が14.3ポイントの悪化であるため、金融相談等により経営支援を行っていききたい。来期の見通しでは「売上」「採算」「受注単価」「景況判断」のいずれも約△50ポイントの悪化予想であり、非常に厳しい経営状況の見通しである。他は全項目で不変基調である。経営上の問題点は1位「需要の停滞」2位は同数で「人件費以外の経費増加」「受注、販売競争の激化」となっている。

### 【卸・小売業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」「採算」が△36.4ポイントの減少・悪化と、厳しい経営状況が続いている。「仕入単価」については18.2ポイント上昇、販売単価は△26.4ポイント減少しており売上原価の上昇と及び客単価も伸び悩んでいるため利益の確保に苦慮している状況が伺える。来期の見通しでは「売上」「採算」「販売単価」で減少・悪化予想しており改善の傾向が見られない。経営上の問題点は1位が同数で「需要の停滞」「受注、販売競争の激化」3位が「仕入単価の上昇」「販売価格への転嫁難」等となっている。

### 【飲食・宿泊業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」「採算」が△50ポイント減少・悪化しており、消費者マインドの低下による需要の停滞の影響が大きい。「仕入単価」も62.5ポイント上昇し、「販売単価」は△37.5ポイントの減少が見られ、大変厳しい経営状況である。「資金繰り」についても△37.5ポイント悪化と客数の減少する冬季間の資金繰りについて苦慮している状況である。来期の見通しでも改善傾向を示しており、忘年会等での客数増加が望まれる。経営上の問題点は1位「仕入単価の上昇」2位「需要の停滞」3位「同業者、大型店等の進出」となっている。

### 【サービス業】

今期の景況を前年同期と比較すると、「売上」「採算」が△14.3ポイント減少・悪化している。「仕入単価」が28.6ポイント上昇しているため、「販売単価」は不変であるが売上原価増加により利益が減少傾向にある。来期の見通しでは、同じような傾向を予想しており厳しい経営状況が続くと思われる。経営上の問題点は1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位に同数で「従業員の確保」「店舗・設備等の老朽化」となっており売上高確保のための販路開拓に向けた経営計画書作成支援をする必要がある。